

さかき

No. 175

令和7年1月31日

議会だより

無病息災でよい年になりますように
(苧屋原区 どんど焼き)



12月定例会

- ここが聞きたい! 一般質問8名 4ページ
- 「これからの坂城町を語ろう」を開催 10ページ

町内各施設の改修を行う LED化・バラ公園トイレ改築など

第4回定例会は12月2日から12月13日までの会期で開かれ、一般質問には8名が登壇した。条例の制定及び一部改正、町道路線の変更、補正予算などの議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

条例改正等

◆坂城町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

◆刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

(対象条例)

・坂城町一般職の職員の給与に関する条例

・坂城町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

・坂城町消防団員等に係る退職報奨金の支給に関する条例

「刑法等の一部を改正する法律」及び「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」の施行に伴い、改正するもの。

改正の内容は、「懲役」及び「禁錮」を廃止し、「拘禁刑」が創設されること

から、条例内の「懲役」または「禁錮」の文言が使用されている箇所を「拘禁刑」に改める。

◆町道路線の変更

テクノさかき産業用地開発事業や、通学路の変更等に伴い、路線を変更した。

一般会計補正予算 (第6号)

問 坂城保育園園舎施設工事の内容は。

答 リズム室照明設備のLED化工事である。

問 町管理の防犯灯工事の内容は。

答 6地区8ヶ所の水銀灯をLED化にする。

問 加工施設設備改修工事の内容は。

問 びんぐし湯さん館に隣接する農産物加工施設床の防水塗装工事である。

問 食育・給食センター修繕料の内容は。

答 ボイラーに供給されるガスを測定する「ボイラー用ガス流量計」の液晶部分が劣化したため、交換する。

令和6年度一般会計補正予算(主なもの)

◆第4号補正額(専決)	1,637万円
歳入	
○国庫支出金	50万円
○県支出金	1,230万円
○基金繰入金	357万円
歳出	
○衆議院議員選挙に係る経費	1,205万円
○有害獣被害予防施設 設置事業補助金	90万円
○バラ公園トイレ改築工事費	200万円
◆第5号補正額(専決)	789万円
歳入	
○基金繰入金	789万円
歳出	
○県・町の制度資金の借入れに対する保証料補給金(中小企業支援)	770万円
◆第6号補正額	2億4,076万円
歳入	
○町民税(個人、法人)	3億3,000万円
○基金繰入金	▲1億 211万円
歳出	
○スマートエネルギー設備 設置補助金	200万円
○防犯灯工事費	54万円
○後期高齢者医療 療養給付費負担金	1,505万円
○障がい者の介護や訓練等を援助する給付費	980万円
○障がい児通所等給付費	440万円
○坂城保育園 園舎施設工事費	75万円
○農産物加工施設 設備改修工事費	104万円
○教科書改訂に伴う指導書・教材購入費	462万円
○食育・給食センター修繕料	43万円
○保健福祉等複合施設 整備基金積立金	1億8,000万円



バラ公園トイレ改築工事

第4回定例会(12月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 専決

- ① 和解及び損害賠償額の決定
- ② 令和6年度補正予算
 - ・一般会計(第4号)
 - ・一般会計(第5号)

(2) 条例

- ① 坂城町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
- ② 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ③ 坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正

(3) 令和6年度補正予算

- ① 一般会計(第6号)
- ② 介護保険特別会計(第2号)

(4) 意見書

- ① 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書

(5) その他

- ① 町道路線の変更

2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		結果	(議員氏名)												
			塚田舞	水出康成	宮入健誠	中村忠靖	星哲夫	玉川清史	山城峻一	柘津明子	大日向進也	朝倉国勝	大森茂彦	中嶋登	滝沢幸映
令和6年度補正予算	坂城町国民健康保険特別会計(第3号)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	議 長 職
	坂城町後期高齢者医療特別会計(第2号)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	

3 全会一致で否決された議案……なし

4 請願審査結果

請願	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
請願	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	長野県教職員組合坂城町単位組合 執行委員長 中澤 慎司 紹介議員 大森 茂彦	社会文教 採 択	採 択

表紙



だんご焼きは、正月飾り、書初め、昨年に授与したお守りやおふだなどを持ち寄って焼き、やぐらを作り、お焚き上げをします。

その聖なる火で焼いた餅や団子、まゆだまなどを食べることで、無病息災を願うというものです。

地域の伝統行事として、呼び名や、やり方も様々ですが、各地域で小正月の頃に行われています。

表紙は令和7年1月12日に行われた、荻屋原区育成会主催のだんご焼きです。

荻屋原区では、燃えさかるやぐらへ投げ銭を行います。焼き灰になってからお金を探し出し、年神様からのお年玉としていただいています。

また、拾い上げた方は、今年は金運に恵まれるとして、区民の楽しみな行事として定着しています。

(写真・文 水出 康成)

議 会 日 誌 (主なもの)

10月	2・8・17日 議会報編集委員会
	3日 千曲坂城消防組合議会定例会
	4日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望
	15~16日 総務産業常任委員会(閉会中の調査)
	17日 六ヶ郷用水組合議会定例会
	17・18・22・23・24日 定期事務監査
	18日 千曲衛生施設組合議会定例会
11月	21日 議会全員協議会
	22・24日 上田地域広域連合議会定例会
	25日 町例月現金出納検査
	30日 葛尾組合議会定例会
	8日 町民と議員との意見交換会
	12~14日 社会文教常任委員会(閉会中の調査)
	19日 長野県教職員組合坂城町単位組合請願/議会運営委員会/議会全員協議会
12月	21日 議会運営委員会
	25日 長野広域連合議会定例会
	26日 町例月現金出納検査
	29日 定期事務監査報告
	2~13日 12月議会定例会
	2・18・25日 議会報編集委員会
	10・13・24日 議会運営委員会
24日 議会改革等特別委員会	
26日 町例月現金出納検査	

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

子ども支援

子ども相談窓口の拡充を

関係機関とともに研究する



玉川 清史 議員

問 11月の視察先で、子ども本人からの相談手段としてLINEが有効であると説明があった。当町でも、相談の門戸を広げるための考えは。子ども支援室長 町の相談窓口は「子育て支援センター」を中心に小中学校、教育委員会、保健センターで電話、対面、メールでの受付を主としている

答 幅広い皆さんへの情報提供や相談体制はどうなっているか。
町長 町のホームページで環境省のサイトを紹介し、広報では、飼い主へのペット同行避難についてのお願いを定期的に掲載

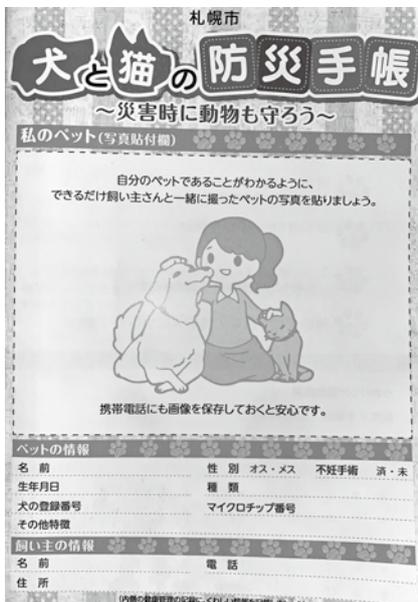
るが、学校で配布したクロームブックの場合もある。SNSの活用については、国や県でも行われていることを周知するとともに、当町ではSNSに限らずに、関係機関と連携して研究していく。

ペット同行避難の周知は

している。

町総合防災訓練で同行避難について注意点などの周知や啓発に取り組んでいる。また、ホームページや広報などによる情報

発信、各地区に出向く出前講座での説明、相談窓口の県保健福祉事務所やハローアニマルの周知を含め、機会をとらえて情報提供をしていく。



札幌市ペット防災手帳

質問項目

玉川 清史 議員 4ページ

- ① 災害対策について
- ② 子ども支援について
- ③ 精神障がい者入院医療費助成制度について
- ④ 国民健康保険について

柵津 明子 議員 5ページ

- ① 医療費について
- ② 保育について

大日向 進也 議員 5ページ

- ① 公共交通について
- ② 町の介護サービスについて

宮入 健誠 議員 6ページ

- ① 消防団について
- ② 有害鳥獣対策について

中村 忠靖 議員 6ページ

- ① 公園の遊具について
- ② 業務改善の取り組みについて

水出 康成 議員 7ページ

- ① 文化の振興について
- ② 子育て支援について

山城 峻一 議員 7ページ

- ① 子どもの権利について

大森 茂彦 議員 8ページ

- ① まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ② 町の農業の活性化に向けて
- ③ 町内の光源はLED化に

生活習慣病

重症化を防ぐには

特定健康診査が重要



赤津 明子 議員

町長 一人ひとりが適正な医療により健康寿命の延伸につながる生活を送ることが重要である。

町長 生活習慣病の重症化を防ぐための取り組みは。

町長 自身の体の状態を知る機会を作ることが生活習慣病の予防や重症化

を防ぐことにつながるため、健診受診の重要性を広く周知していく。

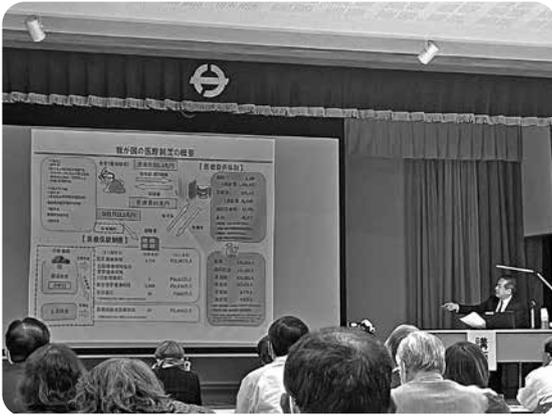
また、保健センターでは治療の方に対し継続的に関わり、重症化予防となる支援に取り組んでいく。町としても、子どもの頃から正しい生活習慣の習得や、成人での健診受診及び医療の適正受診に対し、保健師や管理栄養士等の専門職が住民に寄り添い支援を行うとともに、医療機関の協力により、医療の適正化に向けて取り組んでいく。

町長 平成20年度と令和5年度を比較して、国民健康保険の一人当たりの医療費は。
町長 平成20年度29万5422円、令和5年度39万4094円である。

町長 後期高齢者医療制度の財政制度は。

町長 全体の医療費の約5割を国・県・町が、1割を保険料として加入者が、残り4割を74歳以下の現役世代が負担する仕組みである。

町長 国民健康保険を堅持するためには。



はつらつ健康講演会



大日向 進也 議員

デマンド交通の今後は

令和7年4月本運行

公共交通

町長 3年間の実証実験が終了する。4月からの本運行を踏まえ、利用者からの要望はどう反映されるのか。

町長 1番要望が多く寄せられている運行時間の延長は、1日5時間から3時間延長し、午前9時から午後5時までの8時

間へ見直しをする方向である。

また、停留所は現在町内48ヶ所設置しているが、新設された薬局を追加し、49ヶ所となる予定である。

さらに運行事業者の取り組みとして利用料金の支払いの方法は、従来の現金支払いに加え、クレジットカード、交通系ICカードでの決済が可能になる。



次期更新時に小型化を考えていく

町長 循環バスの今後は。建設課長 デマンド交通実証実験期間中、循環バスの利用者数は減少することなく、双方のメリットを生かしながら、多くの方が利用している。

また、利用者の意見として、小型車両の導入と運行ルートの延長を望む声がある。導入から10年が経過した現在の車両は、修繕等が頻発しており、更新の検討を行っている。

消防団

自然災害への対応は

実践的な訓練を実施



宮入 健誠 議員

問 消防署との連携を図るための取り組みは。

消防署との連携が不可欠であるとして認識しており、団幹部は年度当初に消防署との連絡会議を開催しているほか、機会をとらえて消防署の職員とのコミュニケーションを図っている。

また、消防団の訓練に



消防団 年末特別警戒激励式

は、必ず消防署の指導をお願いし、災害時に備え連携を図っている。

問 自然災害対応に向けた取り組みの状況は。

町長 消防団員は火災等、災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、これまでに培った経験を生かした消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員である。

消火活動のみならず、地震や風水害等、多数の人員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防衛活動など、非常に重要な役割を担っている。

町消防団として、有事の際に迅速かつ的確に行動できるよう、町総合防災訓練への参加や、水防団として水防訓練の実施など、実践的な訓練を行うほか、地元地域で開催される防災訓練や出前講座などへ積極的に参加している。

軟骨伝導イヤホンの活用は

各課窓口などで使用

窓口対応



中村 忠靖 議員

問 軟骨伝導イヤホンを導入した経緯と、今後の設置・活用予定は。

町長 利便性の向上に資するDXの推進と合わせて、様々な相談事や各種手続きなど、窓口での対応は欠くことができない。町では、ソフト面の

善をはじめ、老眼鏡・拡大鏡配置など、住民サービス向上のため、ハード面での対応環境の整備も進めてきた。

12月3日から、軟骨伝導イヤホンを福祉健康課の窓口で配置し、利用を開始した。導入経緯は、耳の聞こえにくい方とのコミュニケーションの円滑化や、サービス向上の環境である。

今後は、DXの取り組みを含め、ハード・ソフト両面から取り組みを続けていきたい。

長寿命化計画を踏まえ、先進自治体の導入経過や課題、利用状況を参考に研究していく。

公園の遊具について

問 インクルーシブ遊具の導入・検討は。

建設課長 インクルーシブ遊具は、多種多様な個性を理解、尊重し、障がいの有無・年齢・性別に関係なく、誰もが一緒に楽しめる空間で公園整備に必要な視点である。

今後は、「町都市公園施設長寿命化計画」を踏まえ、先進自治体の導入経過や課題、利用状況を参考に研究していく。



窓口で配置された軟骨伝導イヤホン

文化の振興

文化財・史跡の活用は

観光資源としてPRに努める



水出 康成 議員

問 文化財や史跡の観光活用は。
商工農林課長 町内の文化財や観光施設など、町の魅力を知っていたり、町のための新たな取り組みとして、観光・文化デジタル事業を進めており、新年からデジタルマップの運用を開始する。アクセ



眺望復活を望む葛尾城跡山頂

スした方の興味がある分野に特化した情報を取得でき、足を運ぶさっかになる。

英語表記も対応しており、国内外の皆さんに情報を提供できる。観光資源の一つとして、文化財や史跡等の保存と活用、地域の魅力向上、PRに努める。

問 葛尾城跡眺望維持は。
教育長 県の史跡の為、

眺望を含めた管理方法など関係者と慎重に検討する。

幼稚園副食費無償化は

問 保育園の副食費が無償であるが、子育て支援策とすると幼稚園の子どもたちも無償となるのでは。

町長 幼稚園には運営支援もしており、副食費のあり方を意見交換していきたい。



山城 峻一 議員

問 坂城町の子どもを取り巻く現状と課題は。

町長 国がまとめた子ども白書によると「安心できる場がある」と思う子ども・若者の割合が9割。一方「自国の将来は明るい」と回答した割合は約2割となっている。

この調査は国の調査であるが、当町の現状と課題は国と同様であると認識している。

問 現在、子ども達の意見聴取・意見反映の場は。
町長 模擬議会もその一つであり、他にも町が実施している坂城中学生海

子どもの権利

子どもの声の反映は

子ども施策に反映していく

外派遣事業などが挙げられる。

問 子どもの権利の普及をどう図っていくか。

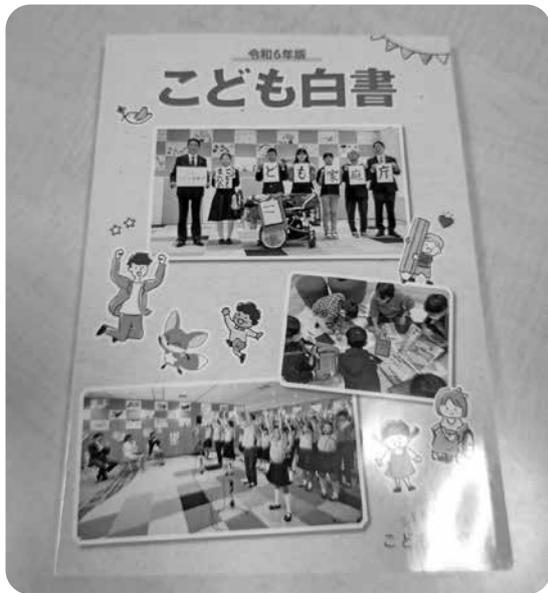
町長 様々な場を通じ、国の取り組みなどを参考に広く普及啓発を図っていききたい。

問 今後、子どもからの意見をどのように町に反映していくのか。

町長 模擬議会など様々な機会を通じ、意見や要望を聴き、子どもの最善の利益を実現する観点から、子ども施策に反映できるように努力する。

問 町独自に子どもの権利条例を制定すべきと思うか町の考えは。

町長 条例制定は考えていない。



令和6年版こども白書

LED化へ

防犯灯はLED化に

速やかに対応していく



大森 茂彦 議員

問 2023年に行われた「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」において、蛍光灯には微量ながら水銀が含まれるため、蛍光灯の製造と輸出入が2027年末で禁止になる。町民の安全を照らす防犯灯は何基あり、どれだけLED化されているのか。

住環境課長 現在、1612基あり、そのうち光源がLEDのものは209基でLED化率はおよそ13%である。

問 3人の区長から話を聞いた。ある区長は80基

中20基をLED化の申請をしたが「予算がないと言われ、1基しかやってくれなかった」と。その後、3基が壊れたが、3基とも区費で交換した。私が町に申請したのかと聞くと、その区長は「年間1区1基とのことなので、

申請していない」と。別の区長は「蛍光灯の交換を依頼している電気屋さんがケガをして、もうできないと言われ、預けてあった蛍光灯が戻された」と。

町は、太陽光発電システムには、増額補正をしているのに、防犯灯のLED化に増額補正ができないのか。年次計画をたて、実施すべきだが。

町長 町民の安全・安心のために、防犯灯のLED化計画を作成し、速やかに対応していく。



LED化された防犯灯

委員会報告（閉会中の調査）

地域創生施策をさぐる

総務産業常任委員会



小川町霜里農場
ろ過した天ぷら油でトラクターを動かす

総務産業常任委員会は10月15日（水）～16日（木）に埼玉県横瀬町、寄居町、小川町の視察を行った。

◆横瀬町では、町とコラボして、まちづくりの実践や実証実験などができる「よこらぼ」という仕組みを2016年からスタートさせた。

まちづくりを行いたい人たちが提案概要を申し込み、関係各所で採択となれば、提案者のプロジェクトが可能となる。

今までの提案件数234件のうち、141件が採択され、「遠隔子育て相談・小児科オンライン」や「電動キックボードシェアリングサービス」など多種多様な事業が採択されている。

多様なアイデアを積極的に受け入れ、住民、企業、行政が協力し合うことで、「チャレンジがチャレンジを呼ぶ好循環」が生まれ、人を惹きつける魅力づくりを行っている横瀬町の姿勢に大きな刺激を受けた。

◆寄居町では、中心市街地活性化の取り組みについて視察を行った。中心市街地における人の往来の減少や若年居住者の流失等が顕著となっている中、町の賑わい創出として、駅前にある道路の拡幅や歩道の整備、また「集う」「憩う」「交わる」がキーワードとなっている住民の交流拠点として、駅前拠点施設「Yottete」や賑わい創出交流ひろば「YORIBA」を建設した。

人々が自然と集まり、心安らぐ空間で交流できる場を提供している点が魅力的である。「人と人のつながり合える場」をどう創っていくか、今後の参考にしたい。

◆2023年に「オーガニックビレッジ宣言」をした小川町では、豊かな土づくりでもたらされる有機農業の取り組みの視

察した。

察を行った。

国では2021年より「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業に地域ぐるみで取り組み市町村の支援を行っている。

小川町では、1970年代から有機農業は営まれており、その取り組みに共感した農業者が創意工夫を重ね、有機農業が盛んになったとの話である。

さらに、里山などの落ち葉、給食の残渣を活用した、たい肥や液肥の安定供給、利用拡大にも努めており、有機農業の生産から消費までを地域全体で推進する取り組みを行っている。

環境に優しいとされる有機農業。この取り組みはSDGsの観点からも、今後、環境への配慮が強化される。

坂城町は農業区画が狭く、耕作不利益が多い地域であるが、今後研究していく必要があると思われる。(山城 峻一)

子どもに安全・安心なまち

社会文教常任委員会

部局が協働しながら必要な支援が行える利用者思いの施設であった。

◆子ども発達支援総合センター「ちくたく」は、身体や心の発達、情緒面や行動面の問題に対して、児童精神科、小児科、整形外科を持つ医療部門に加え、児童心理治療施設、福祉型障害児入所施設の入所部門、就学前の子ども通所部門として児童発達支援センターからなる複合施設である。心と体の

部局が協働しながら必要な支援が行える利用者思いの施設であった。

◆子ども発達支援総合センター「ちくたく」は、身体や心の発達、情緒面や行動面の問題に対して、児童精神科、小児科、整形外科を持つ医療部門に加え、児童心理治療施設、福祉型障害児入所施設の入所部門、就学前の子ども通所部門として児童発達支援センターからなる複合施設である。心と体の

◆子ども発達支援総合センター「ちくたく」は、身体や心の発達、情緒面や行動面の問題に対して、児童精神科、小児科、整形外科を持つ医療部門に加え、児童心理治療施設、福祉型障害児入所施設の入所部門、就学前の子ども通所部門として児童発達支援センターからなる複合施設である。心と体の

◆子ども発達支援総合センター「ちくたく」は、身体や心の発達、情緒面や行動面の問題に対して、児童精神科、小児科、整形外科を持つ医療部門に加え、児童心理治療施設、福祉型障害児入所施設の入所部門、就学前の子ども通所部門として児童発達支援センターからなる複合施設である。心と体の

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により



資生館小学校 開放された教室

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

◆資生館小学校は、児童数減少により札幌市中心部の創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、2004年4月に創成小学校跡地に開校。校舎は地下1階、地上5階建て。ミニ児童会館・子育て支援総合センター・保育所が併設されている複合施設。校名は、1871年(明治4年)に開設した教育施設「資生館」が4校に由来する。4校とも130年の歴史があるため、メモリアルホールの設置により

(水出 康成)

城 町 を 語 る う

～11月8日に町民と議員との意見交換会を開催しました～

各担当班のテーマ

班の構成 (◎は班長、○は副班長)

総務産業	「人口減少」 「公共施設」	◎ 大日向進也 ○ 山城 峻一	滝沢 幸映 大森 茂彦	祢津 明子 中村 忠靖	宮入 健誠
社会文教	「防 災」 「福 祉」	◎ 玉川 清史 ○ 水出 康成	中嶋 登 朝倉 国勝	星 哲夫 塚田 舞	

議会では、8月の1か月間、意見交換会の課題について、パブリックコメントを実施しました。

その回答の中から、総務産業常任委員会では「人口減少」「公共施設」、社会文教常任委員会では「防災」「福祉」にテーマを定め、11月8日(金)に、これからの坂城町を語ろうと町民と議員との意見交換会を開催しました。

中心市街地コミュニティセンターで合計20人の皆さんにご参加いただき、テーマに沿って、ワークショップ形式で行いました。

今後、皆さんから出された意見・提案をもとに、各常任委員会で調査・研究を行い、町政に活かしてまいります。皆さんから出された主な意見・提案を掲載します。



総務産業常任委員会

《人口減少について》

全国的にも人口減少が続いている中、減少幅を小さくすることが課題となっている。

○人口減少から増加に転じることは現実的には難しいと思われる。

減少する中での施策を考えるべき。

○都会からの移住者を増やす。(もっとPRをすべき。)

《公共施設について》

町の公共施設を総合的、また計画的に管理していくことが課題となっている。

「小学校」

○小学校の空き教室を災害時に避難所として考えては。

「複合施設」

○総合センター(物品を入れる倉庫などは可動式の棚を設置し、災害時などに工夫が必要)

○新複合施設の建設委員会についての情報がホームページではほとんど見られない。

「管理」

○公共施設(湯さん館)も年齢別に料金を決めたらどうか？

「その他」

○住みやすい町にするには
①買い物が出来る場所がある。

これからの坂

- ② 病院・医療福祉施設がある。
- ③ 子育てしやすい環境がある。
- ④ より良い住環境コミュニティがある。
- ⑤ 交通手段の選択があること。

○ 災害対策を考えるべき。(町の拠点のあり方。小学校の空き部屋の考え、小学校の統廃合は反対、体験ハウスのあり方。)

○ 「あいさい」の品ぞろえを増やして欲しい。(野菜・果物・お菓子など)

○ 道路も公共施設と考えれば道路の維持管理が不足。(予算がないのか、路肩の清掃、草刈り、植栽の選定など)

社会文教常任委員会

《防災について》

昨今、地震や台風などの自然災害が全国で頻発する中、坂城町においても防災対策が重要なテーマとなっている。

「ペット同行避難」

○ 本年初めて取り扱われたことは良かったが、避難場所や方法の明確化が必要。

○ 能登半島地震の際も問題提起されていたが、ペットが苦手な方への配慮や、さらなる改善が求められる。

「避難所機能」

○ 避難所の迅速な機能確保や、災害発生場所の把握方法、安全の向上が必要。

○ 災害時の住民自身のリスク管理の必要性。

「支援体制」

○ 町の備蓄に頼るだけでなく、個人の防災対策の啓発をしてほしい。

○ 支援が必要な方への具体的なサポート体制。

○ 高齢者の多い町の特性を踏まえ、福祉避難所の設置が必要。

「施設・消防」

○ マンホールトイレの衛生状況や、災害時のト

イレ環境の改善、婦人消防の活動の見直しと機能改善が必要。

《福祉について》

高齡化や多様化する生活環境の中で、坂城町における福祉の充実は、ますます重要な課題となっている。

「要支援者支援」

○ 支援が必要な方が自ら発信することが難しいため、町として支援対象者を見つけ出す仕組みづくりが必要。

また、地域で高齢者世帯や一人暮らしの方を支える共通理解を深めることが重要。

○ 安心して暮らせるコミュニティの形成を進めてほしい。

○ デイサービスの受け皿が不足の改善など。

「子育て支援」

○ 事情がある母子家庭への衣食住の支援強化。

○ 「坂城の子は坂城で育

てる」というスローガンに基づき、私立に通う子どもも含めて全ての子どもに平等に給食費・副食費の無償化を適用してほしい。

「移住支援」

○ シングルマザーやDV被害者への支援措置や住宅補助支援金の支給、町営住宅の家賃引き下げを検討してほしい。

「交通手段」

○ 高齢者や免許返納者、障がい者の外出支援のため、循環バスなど交通手段の改善。

○ 複合施設周辺のインフラ整備を進め、利用対象者の範囲を明確にしてほしい。

○ 「どこでものれーる」は、現状を踏まえ、予算の再配分を求める。



今回の意見交換会は、集計したアンケートからは、概ね好評であった。「議員と町民が対等に話し合える場で良かった」「意見を言う機会ができて貴重な機会となった」との半面、「意見を述べる時間を決めてほしい」「もう少し発言の時間がほしい」「論点を絞って、もっと時間を取るべき」等の意見もあり、今後の参考にしたい。

わがまちのアイドル 第6回

＝ 坂城の子は坂城で育てる ＝

坂城町で生まれたお子さんをご紹介します。



～名前の由来は～

人として規律よく、筋の通った凛々しい子に育ってほしいって願いをこめて、この名前をつけてもらったよ。

～坂城町で

お気に入りの場所は～

子育て支援センターが私のお気に入り。
たくさんのお友達と遊べるから、すごく楽しいの。

～お気に入りの散歩コースは～

今は寒くてお散歩できないけど、春になったらワンちゃんと一緒にバラ公園をお散歩したいな。

～大好きな遊びは～

とにかく動き回ることが大好き！
ハイハイや伝い歩きで家中を探検しちゃうよ！

～パパママからの一言～

毎日幸せをありがとう！
凜紀の成長が楽しみだよ！
明るく楽しく過ごしていこうね。



かみしまりの
上島 凜紀 ちゃん
(9か月：中之条)



平
和

これまで、核兵器廃絶に向けて活動された日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。被団協のこの活動に心から敬意を表します。

また、今年には先の大戦から80年を迎える年となり、平和についてさらに深く考える年になるのではないのでしょうか。

平和な社会の実現は決して簡単ではありません。しかし、日本が唯一の戦争被爆国だからこそできる役割があると思います。

核兵器禁止条約の締約国会議のオブザーバー参加があげられます。

日本はこの条約に批准していません。一方、条約に批准していないドイツやオーストラリアはオブザーバー参加が認められています。

日本もオブザーバーとして会議に参加をし、核保有国と非保有国の橋渡し役として、核のない平和な社会の実現に向けてこれからも努力を続けていって欲しい。(山城 峻一)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 滝沢 幸映
副委員長 中嶋 登
委員 山城 峻一
水出 忠靖
塚田 康成
舞